

カワサキ



No.240



発行日
令和7年10月31日
発行
川崎町議会

編集 議会広聴・広報委員会



「ゴールテープなびかせ」

23P

12P

8P

2P

令和6年度決算

要望決議

声を想いを
未来の匠发掘へ
新校舎どこに
町政を問う

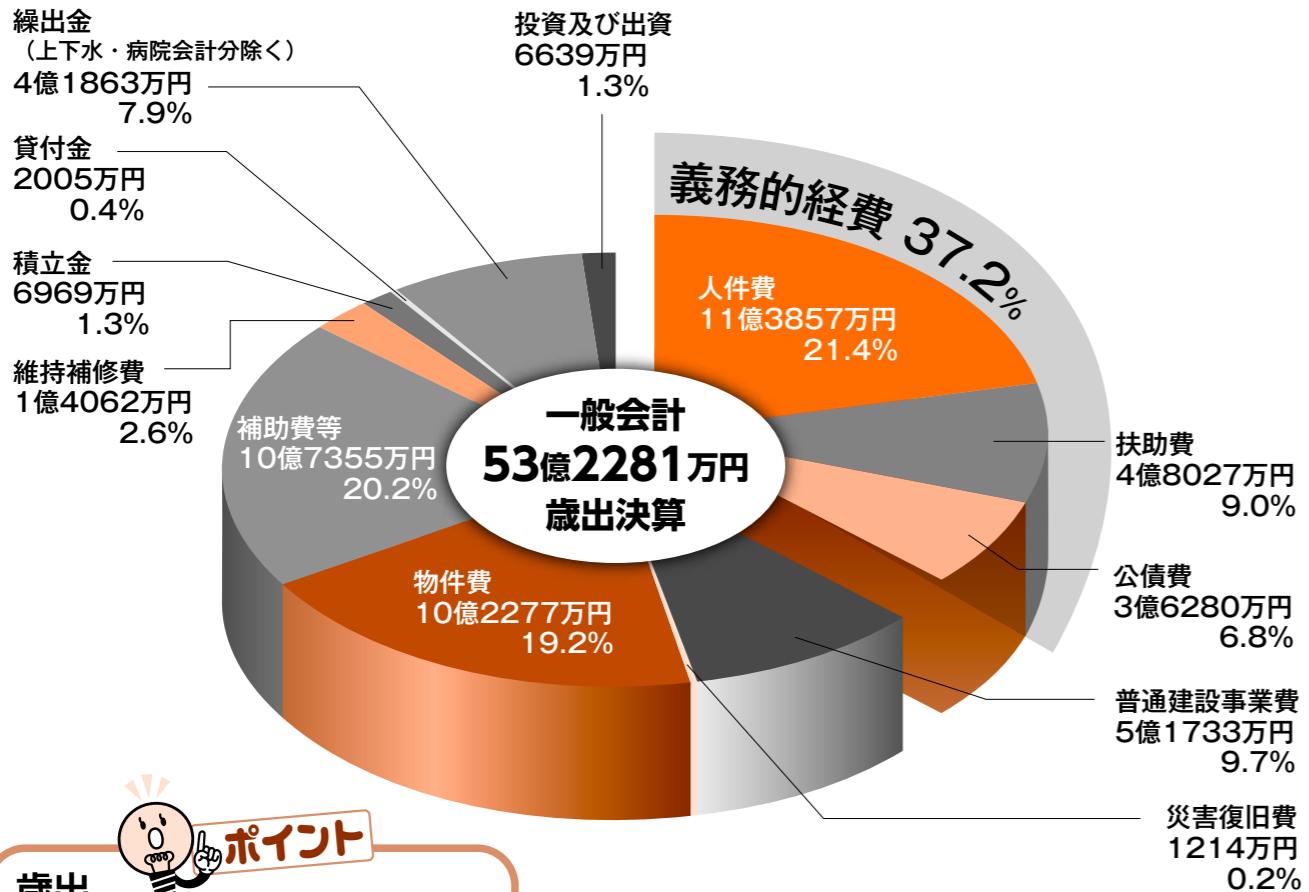
効率的な足の確保を



令和6年度 決算

9月19日に決算認定案8件が審議され、原案のとおり認定されました。決算の概要を紹介します。

各会計 人件費



歳出

- 人件費、委託費の増加により支出増
- 物価高騰により物品購入費の増

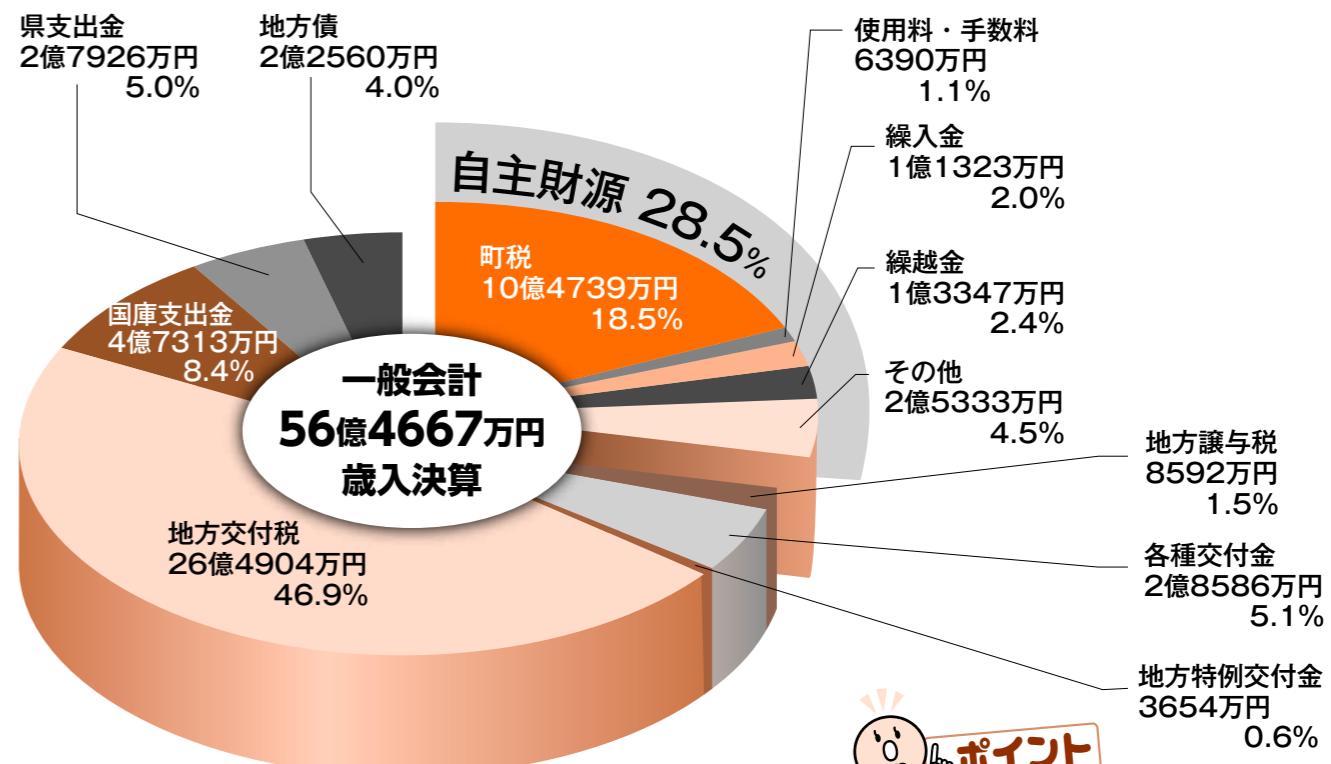
各会計歳出決算

一般会計	53億2281万円
国民健康保険特別会計	11億1106万円
後期高齢者医療保険特別会計	1億1841万円
介護保険特別会計	11億6890万円
温泉事業特別会計	1859万円
病院事業会計（3条分のみ）	8億8559万円
水道事業会計（3条分のみ）	2億4523万円
公共下水道事業会計（3条分のみ）	5億254万円
合 計	93億7313万円



負担増

人事院勧告により



歳入

- スキー場閉鎖に伴う地方債などが減少
- 太陽光施設の稼働などによる固定資産税の増



※人事院勧告…人事院が人材確保・育成等を目的に、国家公務員の給与水準を民間企業と比べて、必要に応じて給与改定などを勧める制度。地方公務員も準拠しているケースが一般的。



森林管理の進捗状況は
佐藤 清隆 委員

森林經營管理制度の意向調査が進んでいます。この私有林を管理する制度に期待していますが、状況と今後の取り組みは。

答 新規地区の意向調査と、これまでに委託希望があつた森林の管理準備を実施しています。意向調査の回答率が約50%と低調ですが、広報紙などで制度の浸透を図ります。

ポイント

この制度は手入れの行き届いていない森林について、自治体が森林所有者から経営管理の委託を受け、森林の管理を行うものです。財源は森林環境税が充てられます。



橋の老朽化に備える
佐藤 昭光 委員

橋梁長寿命化計画に基づき補強工事が進められています。危険度の高い橋梁はその都度工事を進めていますが、費用負担も含め計画的に関係機関と連携・協議を進めるべきでは。

答 町管理の62橋を3年間で点検し、判定結果に基づき補修・設計を進めます。工事方法や費用負担は関係機関と協議しながら進めます。

ポイント

老朽化した橋が増えており、安全確保のためには点検や補修の計画的な実施が欠かせません。限られた財源のなかで、どの橋から優先的に整備するかの判断が求められています。



下斗米 麻子 委員
町全体での開催は

形式での敬老会が開催されませんでした。開催が困難な行政区もありますので、町全体での開催を検討してみては。

答 以前は町主催で開催していましたが、参加者が2割弱と少なく、平成13年度から行政区単位で実施しています。住民などの意見を伺いながら、効率的で有意義な事業展開に努めます。

ポイント

敬老会は楽しみにされている一方で、参加できない高齢者への配慮や地域差が生じやすいという課題があります。コロナ禍では開催することができなかつたため、足を運ぶのが面倒だと感じている住民も多くなっています。



町の魅力発信
遠藤 雅信 委員

自主財源確保策として期待される企業版ふるさと納税の取組状況と今後の対応は。

答 令和6年度に寄付をいただいた9件のうち6件は、ふるさと納税の中間事業者を経由して受領しています。今後も委託を継続しつつ、マッチングイベント等に参加し自主財源確保に努めます。

ポイント

令和6年度の企業版ふるさと納税は530万円で、町にとって重要な自主財源となっています。寄付は年々増えており、今後さらに町の魅力発信に努めていかなければなりません。

みんなのお金、どう使われた?

令和6年度 決算審査特別委員会

令和6年度の各種会計決算認定は議長と議会選出監査委員を除く11名で構成する決算審査特別委員会での審査に付託されました。委員長に的場要委員、副委員長に佐藤昭光委員を選任し、9月16日から18日に審議しました。

質疑は多数ありましたが、ここではその一部を紹介します。



的場要委員長 佐藤昭光副委員長

各会計 詳細に点検!!



大本 治久 委員
通学の足存続を



佐々木 昭雄 委員
不登校対策は



問 川崎一大河原線のミヤコーバス運行補助金は、来年9月まで交付されます。それ以後は補助対象外になる可能性があります。今後の対応は。

広域的な地域交通の維持に対する支援を県に要望しています。今後も関係機関と連携し、川崎校や各高校への生徒利用を踏まえ、路線維持に努めます。

問 川崎一大河原線のミヤコーバス運行補助金は、来年9月まで交付されます。それ以後は補助対象外になる可能性があります。今後の対応は。

小中学校で不登校児童生徒が一定数いるという報告でした。今後の対応と取り組みを伺います。

答 登校したくなるよう学校づくりや、教員による児童生徒の心の把握に努めています。また、学び支援教室担当と通級指導担当の教員を配置し、小学生の段階から予防的な対策に取り組んでいます。

赤字が出ているミヤコーバス川崎一大河原線は、国・県の補助に加え、令和3年度から当町も負担しています。令和6年度の町負担は298万円ですが、利用者が10人以下になると補助対象外となります。

決算審査特別委員会

高橋 義則 委員

効率的な運行を



問 デマンドタクシーの試験運用が始まり、スクールバス、町民バスの3つの交通事業を運行しています。3つの事業の効率的な運用を図るべきでは。

答 子どもの数が減り、スクールバスにも余裕が出ています。通学手段を確保しつつ経費抑制をどう図るか検討し、できることから進めます。

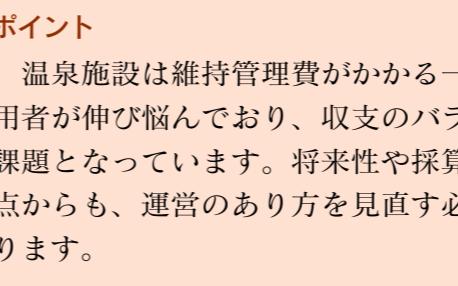


生駒 純一 委員

地元移管の進展は

問 温泉事業の地元移管はこれまでさまざまな意見がありました。が、進展が見られません。県内で唯一自治体が直接管理している状況を改善すべきでは。

答 地元移管に向けてはさまざまな課題がありますので、引き続き地元温泉事業者との協議を継続していきます。



ポイント

温泉施設は維持管理費がかかる一方で利用者が伸び悩んでおり、収支のバランスが課題となっています。将来性や採算性の観点からも、運営のあり方を見直す必要があります。

ポイント

スクールバス、町民バス、デマンドタクシーがそれぞれ運行されていますが、ルートや利用者層が重なっている部分もあります。限られた財源のなかで、統合や連携による効率的な運行体制に見直す必要があります。

佐藤新一郎 委員

安定的な予算確保へ



問 任意でのインフルエンザ予防接種助成は令和2年度から継続しています。しつかり財源を確保し、当初予算に計上すべきでは。

答 新型コロナや他の感染症の流行状況を見ながら判断する必要があり、補正予算で措置してきました。今後は他の予防接種事業を精査し、当初予算計上も検討します。



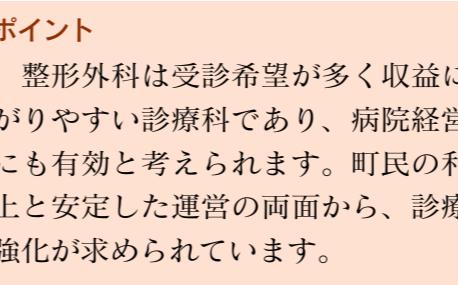
二ースに応えた診療を

眞幡 善次 委員

川崎病院への繰り

問 人口減少で外来患者も減り、川崎病院の経営が心配です。整形外科は週3回診療があり、町民二ースは高く需要があると考えます。体制をさらに充実すべきと考えますが。

答 整形外科のほかにも診療科目が増えてきました。病院の体制が充実してきたことを周知し、利用促進を図ります。



ポイント

整形外科は受診希望が多く収益にもつながりやすい診療科であり、病院経営の改善にも有効と考えられます。町民の利便性向上と安定した運営の両面から、診療体制の強化が求められています。

ポイント

当町は県内で唯一、任意接種の16~64歳に對して助成をしていますが、継続事業にもかかわらず費用が当初予算に計上されていないことが課題となっています。安定的に実施するためには、事業の位置付けを明確にすることが必要です。

佐藤 清隆 委員

効果的な魅力発信



問 交付金を活用して始まつたシティプロモーション事業は町単費で継続しています。費用対効果を見極める時期だと考えますが。

答 新聞広告や動画配信で一定の成果を得ています。今後は効果を検証し、より効果的なPRの在り方を検討しながら推進します。

ポイント

町の魅力発信に取り組んでいる一方で、費用に対して効果がどれほど出ているのかが見えにくいという課題があります。継続するのであれば、成果を検証できる体制が必要です。

高橋 義則 委員

早期実現に向けて



問 龍雲寺前のほ場整備事業は、早くとも10年後に着手との県からの説明でした。町として早期実現に向け、継続的に働きかけるべきでは。

答 県南サミットや市町村長会議でも要望を行ってきました。今後も関係機関へ働きかけ、早期実現に向け努力します。

ポイント

龍雲寺前のほ場整備は地域から長年要望があります。国・県の予算措置が必要なため早期整備に向けた働き掛けを行うとともに、関係者の同意など採択に向けた協議が必要となります。

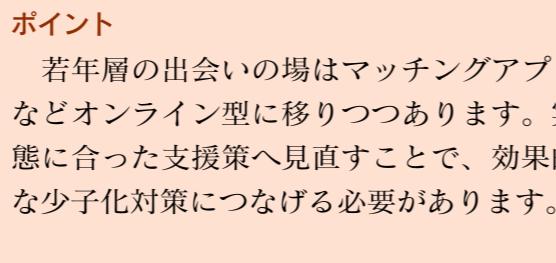
大本 治久 委員

新たなサポート



問 婚活事業は継続しているのですが、近年はマッチングアプリの利用が増えていました。当町でも登録費用の助成を検討してみては。

答 県が運営する「みやマリ」では200組の成婚実績があります。仙南の市町でも補助の事例がありますので、情報収取や成果を確認しながら検討します。



ポイント

若年層の出会いの場はマッチングアプリなどオンライン型に移りつつあります。実態に合った支援策へ見直すことで、効果的な少子化対策につなげる必要があります。

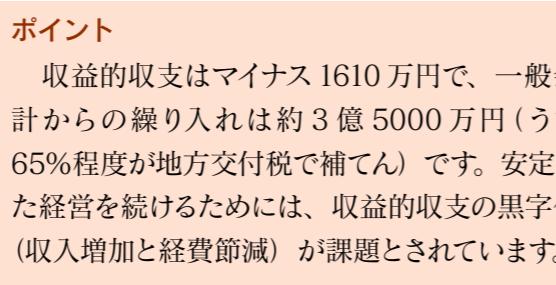
佐藤 昭光 委員

安定経営を目指し



問 川崎病院への繰り出しは3億5000万円です。人口減少等で外来患者は減少傾向にあるなか、今後も病院運営を維持していくための考えは。

答 町民に必要不可欠な施設です。診療科目の周知や企業に出向いてのワクチン接種で収入増加を目指すとともに、コストを意識した経営をしていきます。



ポイント

収益的収支はマイナス1610万円で、一般会計からの繰り入れは約3億5000万円（うち65%程度が地方交付税で補てん）です。安定した経営を続けるためには、収益的収支の黒字化（収入増加と経費節減）が課題とされています。

生駒 純一 委員

地元移管の進展は



問 温泉事業の地元移管はこれまでさまざまな意見がありました。が、進展が見られません。県内で唯一自治体が直接管理している状況を改善すべきでは。

答 地元移管に向けてはさまざまな課題がありますので、引き続き地元温泉事業者との協議を継続していきます。



監査意見 持続可能な経営を

緊急時に備える
歳入・歳出ともに減少
等、緊急かつ突発的な事業に即時対応できるよう財政力を備えてください。

歳入では前年比1億908万円の減少、歳出では前年比1億46万円減額した決算状況となりました。これは、財政調整基金の繰入金やスキーサー場閉鎖に伴う辺地対策事業債、地方債が減少したこと、国の補助金を活用した事業などの完了によることが要因でした。

長期的な視点で
自主財源確保を
病院事業会計は、安
定した病院経営を持続可能なものとしていくために、引き続き長期的な経営収支の評価を確
認しながら、町民から信頼される医療サービスの提供を図ってください。

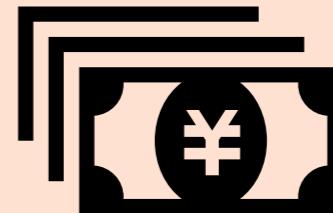
財政指標の状況

項目	R4	R5	R6	健全状況	指標の説明
経常収支比率	89.1%	93.4%	94.3%	悪化	財政構造の弾力性を表す指標で、この比率が高いほど経常剰余財源が少なく、財政の硬直度が進んでいることを示します。
連結実質赤字比率	赤字が発生していない		健全	健全	標準的な収入に対する全会計の赤字割合です。
実質公債費比率	4.5%	5.4%	6.1%	健全	標準的な収入に対する、1年間で支払った借入金返済額などの割合です。
将来負担比率	数値が算定されない		健全	健全	標準的な収入に対する将来支払う借入金返済額などの割合です。
積立金現在高比率	77.1%	77.8%	76.6%	健全	現時点及び将来にわたっての財源的な蓄えを表す指標です。
地方債現在高比率	65.0%	64.8%	59.8%	健全	将来償還すべき地方債現在高の標準財政規模に対する割合です。
財政力指数	0.300	0.300	0.320	低い傾向	財政運営の自主性の大きさを表す指標で、1に近いほど財政力が良いことを表しています。

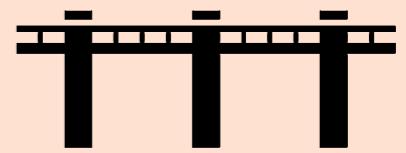
決算特別委員会・総括質疑から重要な項目を議案として取り上げ、要望決議として提出します。



自主財源の確保は最重要課題です。企業版ふるさと納税は増加傾向にあり、大きな期待をしています。これまで以上に情報発信に努め、さらなる自主財源確保に取り組んでください。



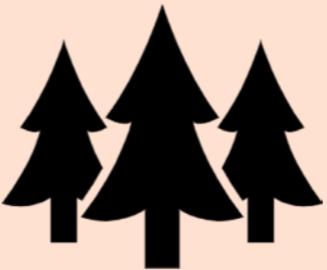
長寿命化計画に基づき橋梁の補強工事を進めていますが、定期的な点検調査の判定結果によっては工事対象となる橋梁が増える可能性もあります。工事費負担も含め関係団体との連携・協議を進めて、計画的に工事を実施してください。



要望決議

議会から町へ

現在実施している森林環境整備意向調査は、令和9年度の支倉地区をもって一巡するようです。この事業は仙南地域のなかでも先進的に取り組まれ期待も大きいことから、引き続き推進してください。



町民にとって重要な施設である病院を維持していくため、医業収益を確保するとともに、経費の節減に努めてください。また、外来患者の増加が期待できる整形外科においては、さらに充実した診療体制となるよう取り組んでください。



今年度、「町民の足の確保」として、新たにデマンドタクシーの試験運行が始まりました。現在、町民バス・スクールバスと3つの運行事業が併用されていることになります。先を見据え、費用対効果や効率的な運用を検討してください。





佐藤 昭光 議員



▲相続手続き急がないと…

問 現役世代の受診率向上は

答 病院と連携しながら

問 改善のために必要な働きかけは。
答 保健福祉課長
未受診者への勧奨はもちろん、病院と連携しながら、広報紙やSNSなどを駆使して計画的に受診者の増加を図っています。



▲早期発見につながる健診

問 町を支える年代なので社会的損失が大きいと懸念されますが。答 町長 健康を損なうことは家族、地域、町全体の損失になると認識しています。

問 40歳から74歳までの特定健診受診率が4年続けて低下している理由は。答 町長 令和4年度の受診率は県平均よりも高い状況でしたが、コロナ禍による受診控えの影響もあったと推察しています。

問 司法書士に相続手続きを頼む場合の手数料を支援する考えは。答 町長 相続登記を補助する市町村もあります。検討しなければならないと思っています。

問 仙台市で所在不明の古い家屋を市の負担で解体しました。当町も考えては。答 総務課長 仙台市は実行に2年以上の時間をかけています。まずは所有者の確認を優先して進めたないと考えます。

問 令和7年7月31日までの16カ月でみると、亡くなった人200人に対して、必要な相続手続きを終了したのは103人中39人です。

問 家屋や土地は、どの程度把握していますか。答 町長 連絡先が不明な場合は戸籍調査などで法定相続人を調べますが、それでも特定できない件数は、令和7年度課税分で14件です。

問 法改正施行後の相続登記について、町内関係では何件発生し、実際手続きした件数は何件ですか。答 町長 令和7年7月31日までの16カ月でみると、亡くなった人200人に對して、必要な相続手続きを終了したのは103人中39人です。

問 町内の所在不明の家屋や土地は、どの程度把握していますか。答 町長 連絡先が不明な場合は戸籍調査などで法定相続人を調べますが、それでも特定できない件数は、令和7年度課税分で14件です。

問 相続登記義務化への対応は支援に補助金検討も

問 人が亡くなった際の相続登記が罰則付きで義務化されました。3年以内に手続きが終わらないと「10万円以下の過料」が課される厳しい内容に、町はどう対応するのか伺います。

問議会中継スマホで見れます!!

LIVE 川崎町の公式LINEに登録して町や議会の情報を受け取ろう!



町政を問う

6人の議員が質問しました

●一般質問とは
町政全般の執行状況を質し、施策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。

ページ	質問議員	質問内容
13	佐藤 昭光 議員	(1) 相続登記の義務化 (2) 特定健診、働き盛りの実情
14	佐藤 清隆 議員	(1) 鳥獣被害対策と注意喚起を
15	下斗米麻子 議員	(1) 小中学校の読書環境整備 (2) RSウイルス感染症
16	的場 要 議員	(1) 校舎改築構想 (2) 正しい日本地図の活用
17	高橋 義則 議員	(1) 高齢者世帯にエアコンを
18	佐々木昭雄 議員	(1) 特定地域づくり事業協同組合 (2) 学校に製氷機設置を

一般質問



たかはし
高橋 義則 議員



問 検討委員会では一定の方向性は意見集約できていたと感じます。施政方針から半年が経過しましたが、現在の状況と検討委員会の再開についての考えは。

答 町長 町の方針として建設する場所を川崎中学校周辺とし、次のステップに進みたいと考えています。なお、川崎小学校改築検討委員会は、今後の議論の進展に合わせ再開する予定としています。

問 第4回検討委員会は10月頃の開催を想定しているということでした。今後の検討委員会のメンバーはどのようになります。



まとば
的場 かなめ 要 議員



問 検討委員会では一定の方向性は意見集約できていたと感じます。施政方針から半年が経過しましたが、現在の状況と検討委員会の再開についての考えは。

答 町長 町の方針として建設する場所を川崎中学校周辺とし、次のステップに進みたいと考えています。なお、川崎小学校改築検討委員会は、今後の議論の進展に合わせ再開する予定としています。

問 第4回検討委員会は10月頃の開催を想定しているということでした。今後の検討委員会のメンバーはどのようになります。

問 今年の暑さでエアコンなしでの生活は厳しいと思います。効果的な対策はありますか。

答 町長 こまめに水分や塩分を補給する。濡れたタオルを肌にあて、うちはあおぐ。涼しい場所や冷房の効いた施設の利用が効果的です。

問 高齢者世帯の熱中症対策にエアコン設置の助成が必要だと考えます。

答 町長 近年夏の猛暑によりエアコンを設置しない高齢者世帯の熱中症リスクが高まっており、エアコンの使用は欠かせません。助成事業の制度設計を早急に進め、4月にさかのぼり制度を導入したいと

問 エアコン設置には本体代金や工事費のか、アンペア数の変更やコンセントの増設など、多くの経費が掛かります。それらを含めて支援する考えは。

答 保健福祉課長 設置や配管に関する工事、電力増設など、費用がかかることは承知しています。情報を収集して検討します。

今年の夏は近年になり暑い日が続き、9月に入つても30℃を超える気温が続いているままで熱中症の危険が高くなっています。

問 この夏、熱中症で川崎病院に救急搬送された人数は。

答 町長 今年の熱中症患者数は22人で、救急搬送者は10人です。患者の22人のうち60歳以上の方は10人で救急搬送者は4人です。

問 今年の暑さでエアコンなしでの生活は厳しいと思います。効果的な対策はありますか。

答 町長 こまめに水分や塩分を補給する。濡れたタオルを肌にあて、うちはあおぐ。涼しい場所や冷房の効いた施設の利用が効果的です。

問 高齢者世帯の熱中症対策にエアコン設置の助成が必要だと考えます。

答 町長 近年夏の猛暑によりエアコンを設置しない高齢者世帯の熱中症リスクが高まっており、エアコンの使用は欠かせません。助成事業の制度設計を早急に進め、4月にさかのぼり制度を導入したいと

問 エアコン設置には本体代金や工事費のか、アンペア数の変更やコンセントの増設など、多くの経費が掛かります。それらを含めて支援する考えは。

答 保健福祉課長 設置や配管に関する工事、電力増設など、費用がかかることは承知しています。情報を収集して検討します。

問 今年の夏は近年になり暑い日が続き、9月に入つても30℃を超える気温が続いているままで熱中症の危険が高くなっています。

問 この夏、熱中症で川崎病院に救急搬送された人数は。

答 町長 今年の熱中症患者数は22人で、救急搬送者は10人です。患者の22人のうち60歳以上の方は10人で救急搬送者は4人です。

問 今年の暑さでエアコンなしでの生活は厳しいと思います。効果的な対策はありますか。

答 町長 こまめに水分や塩分を補給する。濡れたタオルを肌にあて、うちはあおぐ。涼しい場所や冷房の効いた施設の利用が効果的です。

問 高齢者世帯の熱中症対策にエアコン設置の助成が必要だと考えます。

答 町長 近年夏の猛暑によりエアコンを設置しない高齢者世帯の熱中症リスクが高まっており、エアコンの使用は欠かせません。助成事業の制度設計を早急に進め、4月にさかのぼり制度を導入したいと

問 高齢者世帯にエアコン助成を制度設計を早急に



▲猛暑にはエアコンが必要です

問 高齢者世帯にエアコン助成を制度設計を早急に



▲猛暑にはエアコンが必要です

問 高齢者世帯にエアコン助成を制度設計を早急に



▲猛暑にはエアコンが必要です

問 高齢者世帯にエアコン助成を制度設計を早急に



▲猛暑にはエアコンが必要です

問 高齢者世帯にエアコン助成を制度設計を早急に



▲猛暑にはエアコンが必要です

問 高齢者世帯にエアコン助成を制度設計を早急に



▲猛暑にはエアコンが必要です

問 高齢者世帯にエアコン助成を制度設計を早急に



▲猛暑にはエアコンが必要です

問 高齢者世帯にエアコン助成を制度設計を早急に



▲猛暑にはエアコンが必要です

問 高齢者世帯にエアコン助成を制度設計を早急に



▲猛暑にはエアコンが必要です

問 高齢者世帯にエアコン助成を制度設計を早急に



▲猛暑にはエアコンが必要です

問 高齢者世帯にエアコン助成を制度設計を早急に



▲猛暑にはエアコンが必要です

問 高齢者世帯にエアコン助成を制度設計を早急に



▲猛暑にはエアコンが必要です

問 高齢者世帯にエアコン助成を制度設計を早急に



▲猛暑にはエアコンが必要です

問 高齢者世帯にエアコン助成を制度設計を早急に



▲猛暑にはエアコンが必要です

問 高齢者世帯にエアコン助成を制度設計を早急に



▲猛暑にはエアコンが必要です

問 高齢者世帯にエアコン助成を制度設計を早急に



▲猛暑にはエアコンが必要です

問 高齢者世帯にエアコン助成を制度設計を早急に



▲猛暑にはエアコンが必要です

問 高齢者世帯にエアコン助成を制度設計を早急に



▲猛暑にはエアコンが必要です

問 高齢者世帯にエアコン助成を制度設計を早急に



▲猛暑にはエアコンが必要です

問 高齢者世帯にエアコン助成を制度設計を早急に



▲猛暑にはエアコンが必要です

問 高齢者世帯にエアコン助成を制度設計を早急に



▲猛暑にはエアコンが必要です

問 高齢者世帯にエアコン助成を制度設計を早急に



▲猛暑にはエアコンが必要です

問 高齢者世帯にエアコン助成を制度設計を早急に



▲猛暑にはエアコンが必要です

問 高齢者世帯にエアコン助成を制度設計を早急に



▲猛暑にはエアコンが必要です

問 高齢者世帯にエアコン助成を制度設計を早急に



▲猛暑にはエアコンが必要です

問 高齢者世帯にエアコン助成を制度設計を早急に



▲猛暑にはエアコンが必要です

問 高齢者世帯にエアコン助成を制度設計を早急に



▲猛暑にはエアコンが必要です

問 高齢者世帯にエアコン助成を制度設計を早急に



▲猛暑にはエアコンが必要です

問 高齢者世帯にエアコン助成を制度設計を早急に



▲猛暑にはエアコンが必要です

問 高齢者世帯にエアコン助成を制度設計を早急に



▲猛暑にはエアコンが必要です

問 高齢者世帯にエアコン助成を制度設計を早急に



▲猛暑にはエアコンが必要です

問 高齢者世帯にエアコン助成を制度設計を早急に



▲猛暑にはエアコンが必要です

問 高齢者世帯にエアコン助成を制度設計を早急に



▲猛暑にはエアコンが必要です

問 高齢者世帯にエアコン助成を制度設計を早急に



▲猛暑にはエアコンが必要です

問 高齢者世帯にエアコン助成を制度設計を早急に



▲猛暑にはエアコンが必要です

問 高齢者世帯にエアコン助成を制度設計を早急に



▲猛暑にはエアコンが必要です

問 高齢者世帯にエアコン助成を制度設計を早急に



▲猛暑にはエアコンが必要です

問 高齢者世帯にエアコン助成を制度設計を早急に



▲猛暑にはエアコンが必要です

問 高齢者世帯にエアコン助成を制度設計を早急に



▲猛暑にはエアコンが必要です

ハラスメント無縁の議会へ

町村議会議員セミナー

8月4日、利府町文化交流センターで「議員活動に役立つハラスメント対策」をテーマに、議員セミナーが開かれました。参加議員の報告から部を紹介します。

議員がハラスメントを自覚しているケースは無いといいます。そこで大切なことは、対話によって認識の違いを確認することです。感情をコントロールしながら、相手の人格や人権を損ねないよう配慮しつつ改善を求め、互いを尊重し合うことを忘れない必要性を改めて感じました。

ハラスメントの正しい認識と予防の重要性を学びました。パワー・ハラスメントの3要素（①優越的な関係を背景とした言動であり）（②業務上必要かつ相当な範囲を越え）（③環境が害されること）について理解を深めました。周囲とハラスメント防止の意識を共有しながら、議員活動に努めたいと思います。

思いやりをもって

佐藤昭光 議員

3つの要素を学習

大本治久 議員

情動の制御が肝心

佐々木昭雄 議員

感情のコントロール

佐藤清隆 議員

温かなふれあいで

下斗米麻子 議員

8月4日、利府町文化交流センターで「議員活動に役立つハラスメント対策」をテーマに、議員セミナーが開かれました。参加議員の報告から部を紹介します。

問 事業協同組合の検討を

答 機運を高める

「特定地域づくり事業協同組合※」の活用が全国的に注目を集めています。地域内の事業者が共同で人材を雇用し、季節や曜日ごとの業務を組み合わせて安定した就労機会を提供する仕組みです。

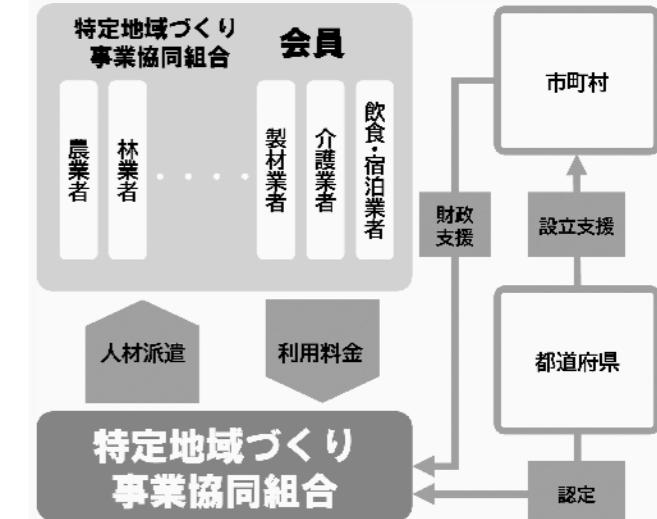
※特定地域づくり事業協同組合とは、地域の雇用創出と移住促進の両立する有効な手段として注目される労働者派遣事業で、東北地方では19件の導入事例がある。

問 他の自治体では導入し成功している事例もあります。組合の設立を検討しては。

答 町長 この事業は地域の事業者が組合を作り雇用を創出する制度です。まずは、経営者が集まる機会などで周知し、機運の高まりを図りたいと考えます。

問 県内で唯一設立されている「気仙沼ジョイントワークス」は今年で3年目となり、移住者の雇用先として成功しています。このような組合への視察を検討すべきでは。

答 地域振興課長 まずは、事業者へ周知を図り、必要に応じて勉強会や先進地視察なども検討していきたいと考えます。



▲1年を通じた労働環境整備へ

問 热中症のリスク軽減として、迅速に体を冷やす手段の確保が重要だと考えます。各学校に業務用の製氷機を設置しては。

答 教育長 全国的にも熱中症対策として冷水器やウォーターサーバーの設置が進んでいます。翌年度以降の導入に向け、検討を進めます。

問 各学校の状況に合った運用しやすい機器の導入を検討すべきと考えますが。

答 教育長 各学校の人数や設置場所、運用方法を相談しながら、適切な機器の選定を進めます。

答 機器の選定進める

問 学校に製氷機を



▲熱中症予防のために



佐々木 昭雄 議員



総務民生常任委員会

調査日 8月7日

防犯対策の取り組み

調査事項①

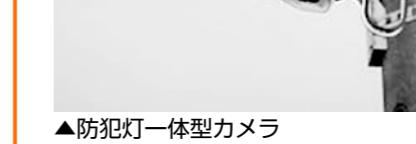
安全安心を感じられる環境

【委員会意見】
犯罪の発生を未然に防ぐには、さまざま取り組みが必要です。特殊詐欺対策電話機等購入補助金は、5000円を上限として購入費の2分の1を補助しています。

令和5年度は15人、令和6年度は1月末現在で13人、合わせて13万9600円を交付しています。

防犯灯の整備や関係各所から要望のあつた防犯カメラ設置についても、安全安心を感じられる生活環境整備を目的に検討しています。

また、防犯情報発信は公式LINEでの周知、併せて県警の防犯メル活用も勧めています。



▲防犯灯一体型カメラ

町広報紙やシニア大学等での情報発信により、特殊詐欺対策電話機購入補助金の申請件数も増加傾向にあります。また、同時に県警察本部の補助も併用できることを周知してください。

防犯灯は、今後の維持管理の面からもさりげなく設置してほしい。防犯力が高まることで安心・安全な環境が整ってきました。また、公共施設の保険も検討が必要であると考えますので、調査検討を行ってください。

地域活性化施設の現状

調査事項②

事業者に寄り添った対応を

【委員会意見】
施設管理は、点検マニュアルを基に建物・グラウンド等の敷地内の安全点検を行っていますが、事業者との確認作業も含めて徹底していきます。

また、施設の老朽化も進んでいます。これまでの修繕箇所について事業者と情報を共有し、安全な管理体制がとれるよう努めています。

施設利用については、担当課・事業者・教育委員会との協議を進め、町内の子どもが利用しやすい環境をつくれるよう取り組んでください。



▲施設の維持管理が課題

地域活性化施設(5校)の入込数は、施設によって違いがありますが、全体的には回復傾向にあると考えます。ただし、いまだ経営の厳しい事業者が多いのが現状ですので、事業者に寄り添った対応を望みます。また、多くの施設

で老朽化が進んでいます。点検で修繕指示があつても改善されないまま使用されている事業者と協議を重ねながら、どのような対策が適切なのか検討してください。

【検証結果】

調査事項②

産業建設教育常任委員会

調査日 8月6日

長寿命化計画の見直しを

調査事項①

町営住宅の現状

【調査結果概要】
「川崎町公営住宅等長寿命化計画」に基づく建て替え事業が令和6年度に完了しました。第1期事業は北川原山住宅22戸、第2期事業は中原住宅8戸を実施

し、伊勢原住宅と中原住宅から入居者が移転しています。

令和元年度から実施している北原住宅屋根改修事業は、本年度で完了します。青根沼の住宅使用料に関しては、督促・催告、個別計画です。

住宅使用料に関する折衝等の取り組みにより、徴収率が増加傾向となっています。



▲計画的な住環境整備を行なっています。

地域活性化施設(5校)の入込数は、施設によって違いがありますが、全体的には回復傾向にあると考えます。ただし、いまだ経営の厳しい事業者が多いのが現状ですので、事業者に寄り添った対応を望みます。また、多くの施設

で老朽化が進んでいます。点検で修繕指示があつても改善されないまま使用されている事業者と協議を重ねながら、どのような対策が適切なのか検討してください。

包括的な支援切れ目なく

調査事項②

こども園等の現状

【調査結果概要】
「かわさきこども園

子どもの育成と子育て家庭の支援には不可欠な施設となっています。

子育て支援センターは、こども園施設内に併設し、子育て広場、児童講座、子育て相談、預かり保育など、子ども

もと親が健やかに成長提供しています。



は、幼稚園と保育所の機能を併せ持つ「幼保連携型認定こども園」として、教育・保育を融合的に展開しています。心身ともに健康な

子ども園等の現状

子どもの育成と子育て家庭の支援には不可欠な施設となっています。

児童教室は各小学校単位に設置し、保護者が労働等で昼間、家庭にいらない児童に対し



▲未来を担う子どもたちのために

【委員会意見】

こども園などの各施設では、保護者の声に耳を傾け、一緒に考え、職員間での情報共有を図りながら、それぞれの役割、特性を生かし運営が展開されています。

幼少期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なもの

は、主に北原住宅の屋根や水回りの修繕となっています。基礎や外壁等に傷みや劣化が見られるので、今後修繕が必要になってくると思われます。「川崎町公営住宅等長寿命化計画」の見直しを行い、既存住宅の修繕計画を立ててください。

伊勢原住宅跡地は、役場にも近く敷地面積も広く確保できるので、跡地利用を検討してください。

伊勢原住宅跡地は、役場にも近く敷地面積も広く確保できるので、跡地利用を検討してください。

用料は、公平性確保の観点からも法的手段も検討し、改善を図ってください。

町民参加の紙面

零石町議会

佐藤 清隆 委員長

零石町の広報紙は、町民参加型の記事が多く使われていて、ページごとにレイアウトやフォントを変えながら、全体として統一感のある紙面となっていました。「町民に手に取つてもらう」ことを意識した丁寧な編集作業と読み手目線の企画

シリーズ化によって、議会の動きが効果的に伝わっている点は大変参考になりました。当議会でも、こうした工夫を取り入れながら、より伝わる広報づくりに生かしていくと考えます。

視察研修

金ヶ崎町議会だよりで驚いたのは「全国コンクール20年連続受賞」という圧倒的な実績です。担当者が代わっても水準を保つ体制に、年季と強さを感じました。「良いものは積極的に取り入れる」という姿勢も徹底されました。

20年連続受賞の底力

金ヶ崎町議会

佐藤 昭光 委員

特に写真担当を一人配置している点は参考になりました。当町でもボランティアの協力がありますが、議員同士で撮影・共有できる体制も有効だと感じました。



▲議会と町民がつながる

議会広聴・広報委員会

岩手県「零石町」「金ヶ崎町」に学ぶ もっと身近に、もっと伝わる広報へ

8月18・19日、全国コンクールで受賞歴のある岩手県零石町議会と金ヶ崎町議会を訪問し視察研修を行いました。ここでは各議員より提出された報告書の一部を紹介します。

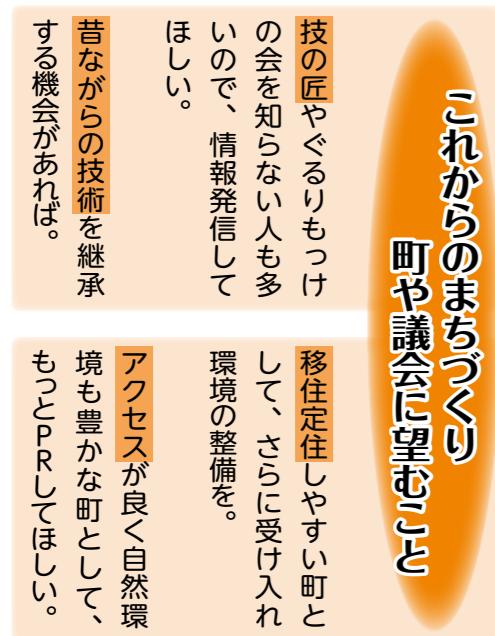


▲表紙にこだわりを持って

みんなの 「声を想いむ」聽かせて



▲多くの人が来場するイベント



今回いただいた貴重なご意見・ご要望は、町政へ反映できるよう尽力いたします。

◆かわさき「技の匠」ぐるりもつけの会
平成20年3月に各分野において技の匠に卓越した人を選定し町長が認証したものです。現在の会員数は個人21名と4つの団体で活動しています。



左から宮城 加代子さん（青根）、菊地 重雄さん（前川西部）
追木 今朝善さん（立野）



今回は、技術の伝承を目的に活動し設立から17年目を迎える『かわさき「技の匠」ぐるりもつけの会』の皆さんからご意見を伺いました。

会員の高齢化が進んでいます。後継者不足や技術の継承が心配。「未来の匠」の発掘に取り組んでいるが難航している。

若い人から興味・関心を持つてもらえるようなイベントの開催方法を模索している。

「ぐるりもつけの会」の課題

昔ながらの技術を継承する機会があれば、技術の匠やぐるりもつけの会を知らない人も多いので、情報発信してほしい。

アクセスが良く自然環境も豊かな町として、もっとPRしてほしい。

これからまちづくり 町や議会に望むこと

技術の匠やぐるりもつけの会を知らない人も多いので、情報発信してほしい。

移住定住しやすい町として、さらに受け入れ環境の整備を。

金ヶ崎町議会

佐藤 昭光 委員

特に写真担当を一人配置している点は参考になりました。当町でもボランティアの協力がありますが、議員同士で撮影・共有できる体制も有効だと感じました。

零石町議会

お知らせ

議会を傍聴してみませんか

議員は、議場でどんな発言をしているか。また、どんなまちづくりを考えているか、今後の町の方向性を直接聞くことができる良い機会です。ぜひお越しください。

※次回の会議は12月2日(火)~5日(金)
一般質問は12月3日(水)・4日(木)
午前10時、再開の予定です。

議会ライブ中継 配信中

(傍聴者は7月・8月・9月会議合計8人、
ライブ中継は180アクセスでした。)

詳しくは、議会事務局まで

TEL (0224)84-2301

掲載写真を募集します

本紙の「町の風景」(裏表紙)に掲載する写真を町民の方より募集します。写真をご提供いただける方は、議会事務局までご連絡をお願いします。



※ご提供いただいた写真が必ず掲載となるものではありません。ご理解のうえでご提供願います。

※写真のタイトルは議会広聴・広報委員会で決定いたします。



撮影場所: 医療福祉センター東側 多目的広場

提供: 議会広聴・広報委員会

表紙の説明 「ゴールテープなびかせ」

「かわさきこども園運動会」にて

撮影 広報モニター 藤原 義信さん



議会映像配信

議会の様子が
ご覧いただけます。

